

日々掃除へ感想文

守嶋 凜音

この本を読んで、掃除の奥深さや人も喜ばす大切なことを学びました。

私は、工場が働いていた時によく「4S」といわれていました。整理、整頓、清掃、清潔です。席、持ち手から離れる時は、身の回りの整理、整頓してから離れないといけなないのですが、それができてる人はなかなかいませんでした。物もぐちゃぐちゃにいられたり資料の上に座わる人など信じられない人ばかりで、私は物の整理、整頓してもらえるようになりカニパンを作成したり区切りをひいたり工夫したところ、みんな元に戻すようになりました。

しかし、掃除となると積極的な人は誰一人いませんでした。私もいやいやでいました。残業してまでも掃除する必要性が全く分かりませんでした。でも、この本を読んで分かった気がします。不良品を出さないように

そして、心の綺麗な人を育てようとしていたのかなと思いました。現在サロニで働かせてもらうようになった。自分の意識が変わってしまいました。掃除は、きたないからやるのではなく、お客さんに気持ちよくリラックステイただける空間作りやスタッフが働きやすいようにするものだと思います。やるようにしています。

鍵山さんのトイレ掃除への思いがすごいなと思いました。トイレ掃除をただやるのではなく、ムダが出ないように考えたり便器も素手で磨いたり掃除をしながら仕事へもつながっているんだと知りました。掃除をしたから効率を考えながらやることで仕事への効率を考えるようになるんだなと思いました。

身のまわりが綺麗だと心も綺麗になれるとありました。確かに、綺麗だと気持ちよく仕事や色々なことがはかどり集中することができます。週一回掃除をするのではなく、毎日違う所を掃除をして、心の綺麗な人になれる

ようにな一生懸命取り組んで参ります。
そして、たとえ小さなことでも、ささやか
なことでも、人を喜ばせるように気がかい
ができる人になれよう精進して参ります。